

画期的な組織革新による 家族養豚農家グループの挑戦



グローバルピッグファーム株式会社
代表取締役 赤地勝美

小農主義の実践

社会の最小単位 → 家族

家族生活制度と結びついた小農の農業



制限的メンバー制と出資者の条件

家族経営中心養豚農家であること

出資者の条件 (5原則)

(経営の強化)

1. 法人であること
2. 生産, 財務のデータを提出すること

(銘柄化)

3. 同じ種豚を使うこと
4. 同じ飼料を使うこと
5. 生産された肉豚は、すべてGPFへ一元出荷すること

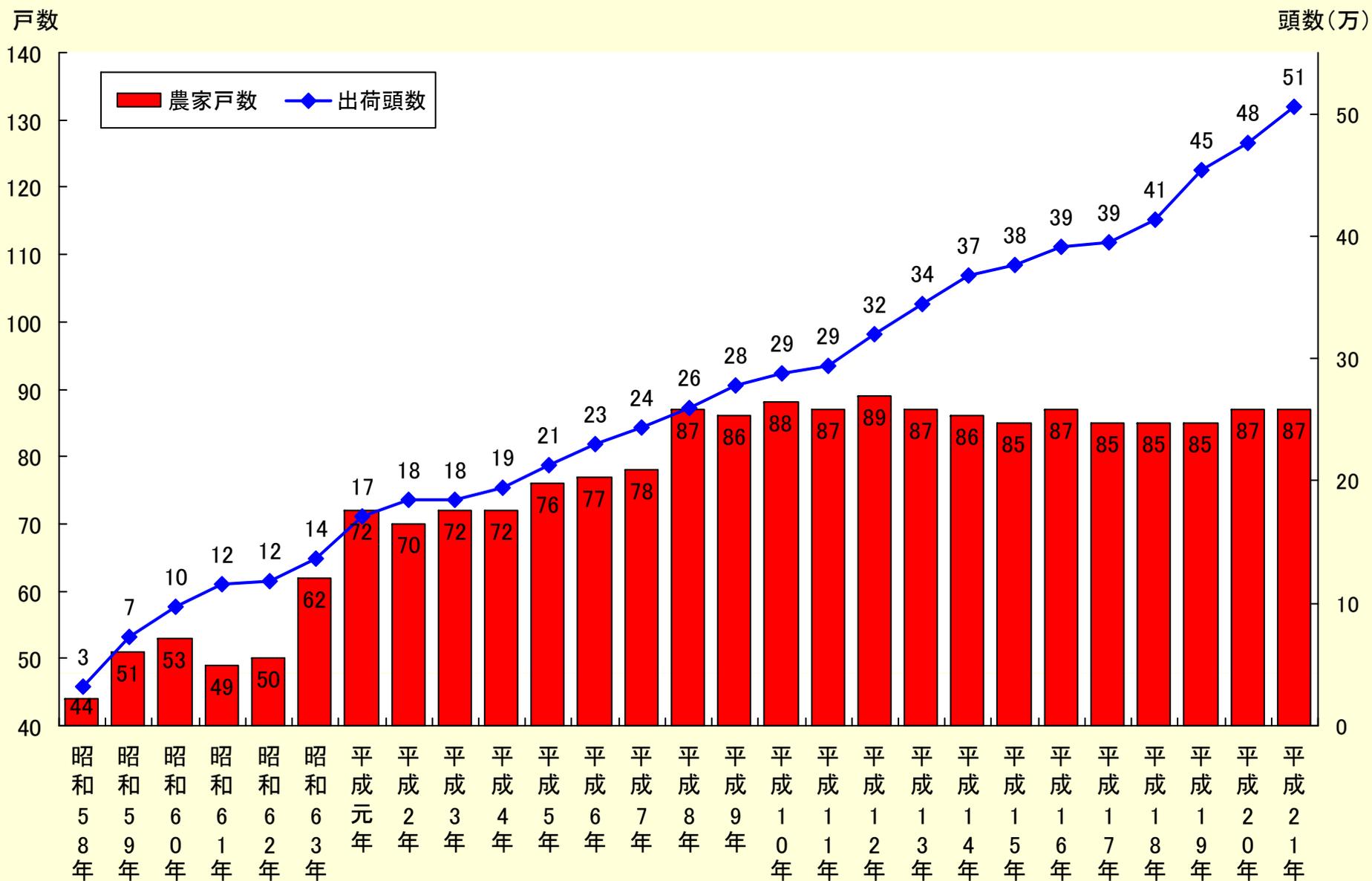


和豚もちぶた生産関連農場



全国78農場

【GPF生産推移】





アラン・シンケル氏



ロイ・シュルツ氏



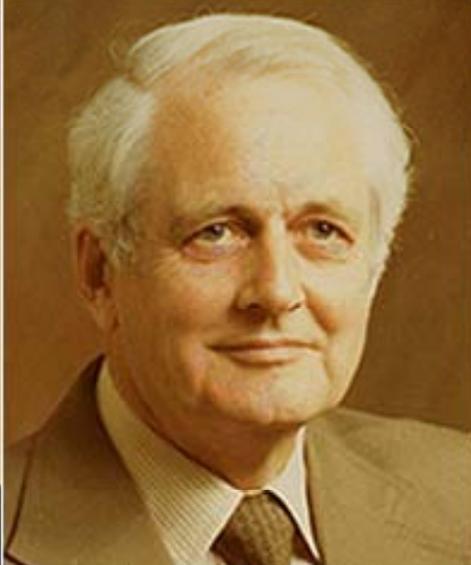
スコット・ディー氏



ハン・スー・ジュー氏



ウェイン・フリーズ氏



ジョン・ケラム氏



アル・クリスチャン氏



ゲーリー・ダイアル氏



杉本 隆重氏



アンソニー・シャイバー氏



ローレン・クリスチャン氏

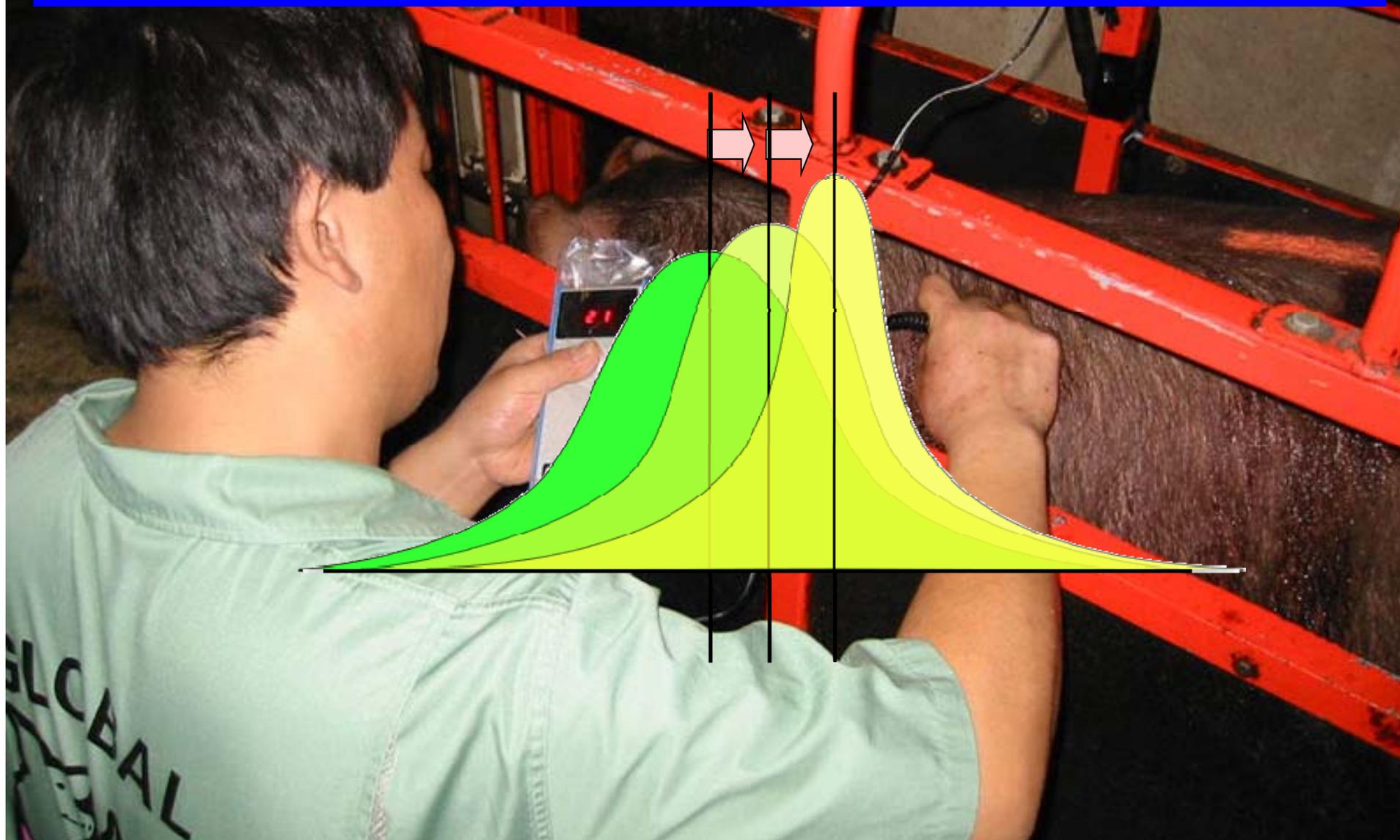


ブラッド・フレッキング氏

グローバルピッグファーム事業部



EBVにより定質化を実現



【ハミテージ種豚輸入(入港・検疫・福島)】





表示票		表示票	
製造年月	年	1. 製造年月	年 月
飼料の名称	両毛肥育豚配合	2. 飼料の名称	両毛子豚配合飼料
飼料の種類	肉豚肥育用	3. 飼料の種類	子豚育成用配合飼料
製造業者の名称及び住所	両毛物産株式会社 群馬県前橋市西善町	4. 製造業者の名称及び住所	両毛物産株式会社 群馬県前橋市西善町 1,674 番地
製造事業場の名称及び住所	両毛物産株式会社 群馬県前橋市西善	5. 製造事業場の名称及び住所	両毛物産株式会社 群馬県前橋市西善町 1,674 番地
対象畜種	肉豚	6. 対象畜種	肉豚

飼料・育種サービス部

福島農場自家配工場





農場コンサルサービス部

【優秀農場見学会】



グループの活動

【各地区の生体枝肉勉強会】



【ニューリーダー 勉強会】



【明日を担う若い力、次世代ニューリーダーたち】



【グローバル婦人部 台湾研修】



【食の安全への取り組み:ISO22000取得】

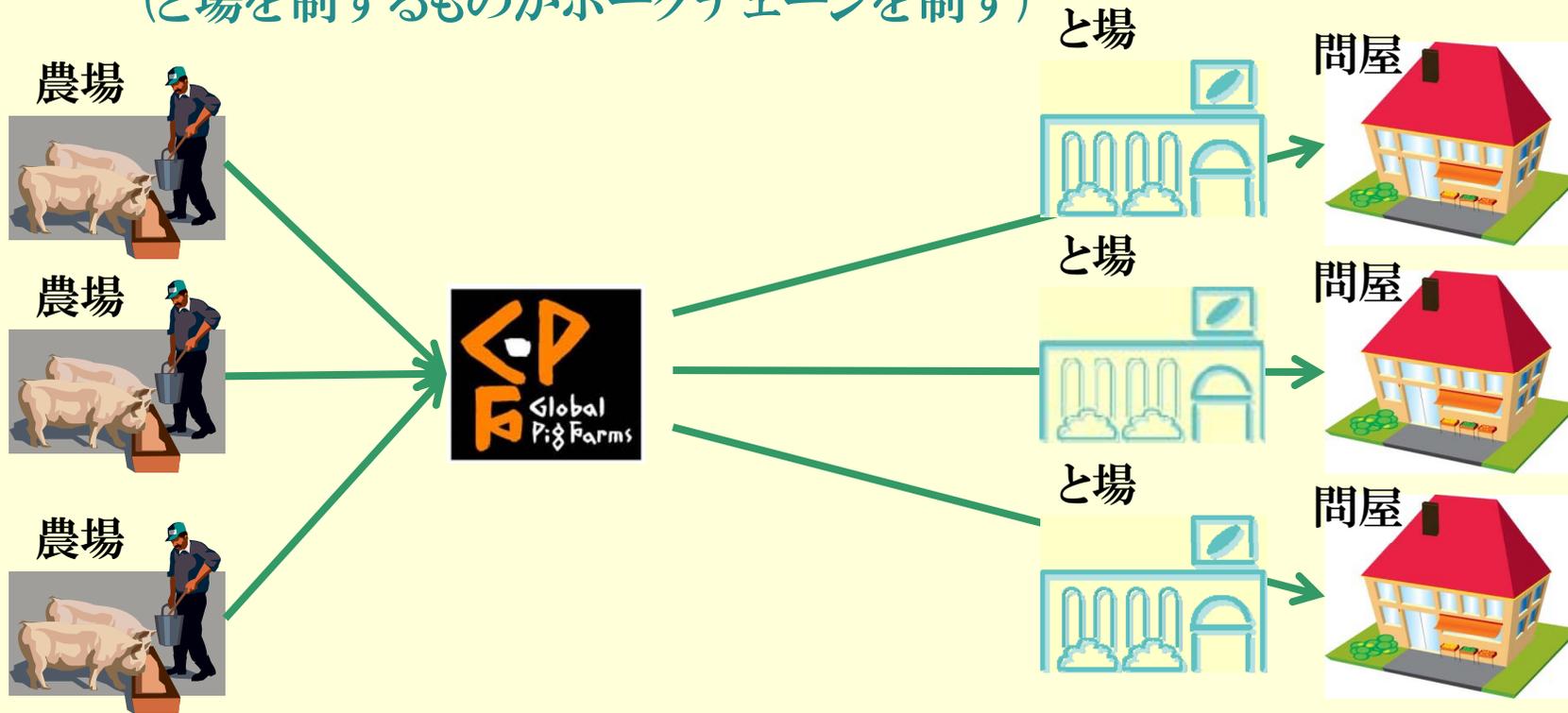


グローバルピッグファームのチャレンジ

豚の価格を自らが決定する。

現在のト場の位置

誰がハカリを持つかが重要ポイント
(と場を制するものがポークチェーンを制す)



新流通でのト場の位置



チャレンジスケジュール

1～3年	3～5年	5～10年
<ul style="list-style-type: none">・流通の整理・GPF流通会社の設立・と場の新築	<ul style="list-style-type: none">・パッキングプラント・流通システムの再構築 (小さくても強力なポークチェーン)・地域限定から全国へ・商品開発・販促活動・輸出商品の開発	<ul style="list-style-type: none">・生産～流通 マネジメント完成・ナショナル商品としてのブランド化・自ら価格を決定する

チャレンジ まとめ

生産から流通まで全て管理し、
新たなポークチェーン創りのために
現状を変革していく。



養豚生産から加工販売までの
6次産業化を完成させる

A photograph of two pink piglets sitting inside a wooden bucket. The bucket is placed on a grassy field with a blurred background of hills and a cloudy sky. The piglets are looking towards the camera.

 グローバルピッグファーム株式会社

<http://www.gpf.co.jp/>

ご清聴ありがとうございました。 . . .